

2012年1月16日
東急車輛製造株式会社



「日本におけるステンレス車両発祥の地」碑 建立について

当社では、1月13日に、日本初のオールステンレス車両である東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄と略す）7000系第1号車を完成させた1962年（昭和37年）1月13日（当社横浜製作所出場日）から50周年を迎えたことを記念して、横浜製作所保存ステンレス車両（産業考古学会推薦産業遺産認定）脇に、「日本におけるステンレス車両発祥の地」碑を建立し、産業考古学会会長 伊東 孝様、日本機械学会 技術と社会部門 部門長 緒方正則様ならびに当社執行役員車両事業部生産本部長 前田秀幸の手により除幕式を行いました。また、同日は産業考古学会主催により、座談会「ステンレス車両の黎明期を語る」も開催され、開発・製造当時を知る東急電鉄OBおよび当社OBにより、ステンレス車両の技術発展史に関する貴重なエピソードが披露されました。

なお、2月25日には、オールステンレス車両完成50周年記念 電車市場 販売会を開催し、記念碑および保存車両を公開する予定です。

詳細は、レールファン電車市場（<http://www.railfan.ne.jp/denshaichiba/>）をご覧ください。



日本初のオールステンレス車両
東急7000系完成時（1962年1月）



保存車両現状
（産業考古学会推薦産業遺産認定）



「日本におけるステンレス車両
発祥の地」記念碑



除幕式におけるテープカットの様子
（左から、緒方正則様、伊東 孝様、前田秀幸）



美しい時代へ—豊かさを造り、未来を創る

東急車輛製造株式会社